■ エクセレントカンパニー トップに聞く ■

飛躍へ熱意が時流つかむ

「できる」と信じ研究開発

大成プラス　成富 正徳 会長

大成プラス（東京都中央区）は、金属と樹脂の接合技術で知られる研究開発型企業だ。金属表面にナノメートル（ナノは10億分の1）単位のくぼみを作り、射出成形で樹脂を分子レベルで密着。最新の研究成果は厚さ0・25ミリメートルのアルミニウムの引っ張り強度を、同2ミリメートルの鋼板と同じにする。成富正徳会長に高度技術について聞いた。

―金属と樹脂を接合した自動車部材の開発が佳境を迎えています。

「ナノ・モールディング・テクノロジー『NMT』と呼ぶ接合技術を活用し、発泡ポリプロピレン（PP）をアルミで挟んだ高強度の軽量部材を車・車部品メーカーに提案している。同じ曲げ強度を持つ鋼板部材に比べて、重量は5分の1。ハイブリッド車（HV）は電池が重い。この部材でドアやボンネット、トランクなどを軽量化できる」

―樹脂と金属の異種材料複合体の特性評価試験方法が、国が進める国際標準の新しい提案プロセス「トップスタンダード制度」に選ばれました。

「NMTは高強度であり、かつ軽量化に有効という特性がありながら、評価方法の標準が存在せず、安全性が求められる自動車用途の市場開拓が難しかった。すでに欧米の主要5カ国、アジアの主要国から国際標準化への支持が得られた」

―創業から約30年間の出願特許は約400件。このうち120件を権利化しています。開発分野は幅広く、NMT以外の技術も自動車メーカーに採用されていますね。

「例えば樹脂を使った押しボタンの技術は、自動車のドアの開錠・施錠を遠隔操作するキーレスエントリーのリモコンとして、国内大手メーカーに採用された。変わった案件では、射出成形で作る独自の多孔質樹脂を用いて写真のように高精細なスタンプを商品化している」

―若手技術者らの育成が成長のカギを握りますね。

「私が技術のアイデアを着想した時、何故そのような絵を描いたのかを、しっかりと説明するようにしている。また若手には『失敗をするなら、上手な失敗をしよう』と説いている。何より、研究開発に大切なのは『できる』と信じることだ」

成功を強力に引き寄せる

サテライトオフィス　原口 豊 社長

サテライトオフィス（東京都江東区）は、米グーグルのクラウドサービス「グーグルアップス」の法人向け導入支援を手がけている。最先端ツールを駆使した営業活動で業績を伸ばし、現在、業界2位。原口豊社長にこれからの戦略などについて聞いた。

―主力事業である導入支援のポイントは。

「グーグルのパートナー企業として、製品提供、技術支援、運用支援を無料で提供している。グーグルアップスは企業のホームページ、メール、文書、グループウエアなどのさまざまな機能を包括するクラウド型プラットフォーム。サーバの提供とセキュリティー対策などの保守・点検は全てグーグルが担当している。アドオン（追加）機能は、グーグルの拡張のほか、当社も独自に提案しており、日々、性能が向上している。つまり〝安い、早い、安全〟だ。1人当たりの利用料金は年間5000円程度。50人の企業の場合、年間25万円で利用できる」

―グーグルが優秀なパートナー企業に贈る「パートナーアワード」を09年から4年連続で受賞しています。

「同業他社が訪問販売ベースであるのに対し、当社はICT（情報通信技術）を駆使して営業を効率化している。例えばインターネット上にさまざまな導線を貼り、受注の半分以上はネット経由で獲得している。サポート業務もマニュアルを動画にしてネット上で共有するといった工夫をしている。営業員はたった5人だが、競合大手に対抗できる」

―これからの事業展開を教えて下さい。

「アドオン開発、サポート技術のノウハウを引き続き蓄積する。また開発を段階的にベトナムの現地法人に移管してコスト削減を図り、競争力を高める。クラウドは必ず社会のインフラになる。より技術を突き詰め、業界首位を目指す」

―経営には何が求められますか。

「事業転換をして何度も危機を乗り切ってきた。明日は何が起こるかわからない。だからこそ経営者は千手観音のように何にでも興味を持ち、成功を強力に引き寄せる力が必要だ。自社事業を探求する熱意が時流をつかむ」

リスクを考える前に挑戦

山一興産　柳内 光子 社長

山一興産（東京都江戸川区）は生コンクリートの販売で業界最大手。柳内光子社長は創業期から経営に携わり、売上高800億円を超える企業グループに育て上げた。介護施設などの運営を通じて地域社会に貢献し、全国唯一の女性の商工会議所会頭としても活躍している。「生涯社長」と宣言する柳内社長に、経営にかける思いを聞いた。

―高校卒業と同時に経営の世界に入りました。

「家業の建材店を引き継いだ兄（故内山甚一氏）を支え、1950年代から二人三脚で会社を経営してきた。63年に生コン製造の内山コンクリート工業を設立した。当時は砂利と水、セメントを建設現場で混ぜるのが普通だったが、ミキサーで材料を練って生コンとして配送するサービスを考案し、左官職人から絶大な支持を受けた。山一興産は内山コンクリート工業の販売会社として設立し、私は84年に社長に就任した」

―好不況の波が激しい建設業界で成長を続けました。

「業界は常に崖っぷちで、不渡りを出されたこともと一度や二度ではない。それでも、何が起きても会社を守るという意地と、諦めずに支え合う社員の姿勢があったからこそ事業を続けられた。私のモットーは一期一会。前向きに、リスクを考える前に挑戦することで多くの出会いに恵まれた。建設業界は男社会だと言われるが、不利と感じたことは一度もない。男性にできて女性にできないことはない」

―医療・福祉事業にも進出しました。

「ある福祉法人から経営再建の依頼を受けたことがきっかけだ。生コンは公共性の高い建材であり、以前から当社の利益を地域に還元したいと思っていた。97年に茨城県で事業を開始し、現在は介護施設やデイサービス、保育園、保育師を育成する学校など20カ所以上の拠点がある」

―長年、本社を置いていた千葉県浦安市で、商工会議所会頭として活躍しています。

「経済や観光で地元を元気にするために活動している。例えば、11年に浦安を舞台にした映画『カルテット』を製作した。市や経済界と協力して、『世界の浦安』にするのが私の夢だ」

［常識外²］

（常識外1：オープンクリーンシステム）×（常識外2：スリープモード）

＝クリーンルーム革命

クリーンルーム革命
KOKEN

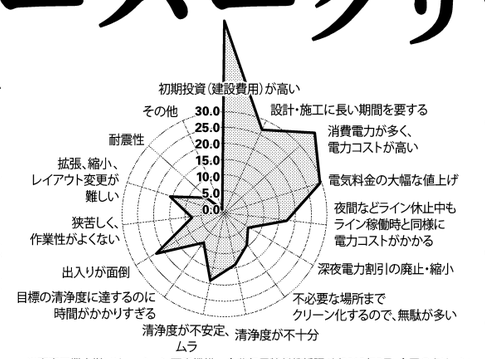
誕生!!スリープモード付きスーパークリーンルーム

消費電力が一般のクリーンルームに比べ
7～8割少ない「フロアーコーチシリーズ」に、
「スリープモード」機能付きが新登場！
一般のクリーンルームと比較して、
消費電力を9割削減することが可能になりました。

（消費電力比較）

サイズ	フロアーコーチEz スリープモードなし	フロアーコーチEzp スリープモード付き
幅3m×長さ20m×高さ2.7m フロアーコーチ3段×3列（9台）	1.7kW	0.5kW
幅5m×長さ20m×高さ2.7m フロアーコーチ3段×5列(15台)	2.8kW	0.8kW
幅7m×長さ20m×高さ2.7m フロアーコーチ3段×7列(21台)	3.9kW	1.2kW

（クリーンルームを導入するに当たっての懸念、躊躇する理由）



※東京工業大学ソリューション研究機構　金谷年展特任教授調べ（2013年2月、全国のクリーンルームを所有または導入を検討している企業・研究機関の担当者600人へのインターネット調査）

このような様々なお悩みに対して、
興研のフロアーコーチが応えます。
ぜひ、ショールームにお越しいただき、
その目でお確かめください。

東京、大阪、名古屋、九州にショールームを
開設しています（事前予約制）。詳細は弊社HPまで。

オープンクリーンシステム　検索

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に
興研株式会社

【本社】〒102-8459　東京都千代田区四番町7番地
TEL:03-5276-1931　FAX:03-3265-1976
E-mail:kankyo@koken-ltd.co.jp